

# 令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果(花園小学校)

## 平均正答率

自校の平均正答率と県の平均正答率との比較

	国語	算数・数学
花園小	下回った	下回った
埼玉県	69	64
全国	67.7	63.4

## 児童生徒質問紙調査の結果と分析

※質問事項は質問紙調査より抜粋したもの

※「している」「どちらかといえばしている」を合わせた値(単位 %)

	質問事項	花園小	埼玉県	全国
生活習慣	朝食を毎日食べている	96.9	94.4	93.7
	毎日、同じくらいの時刻に寝ている	91.5	84.5	82.9
	毎日、同じくらいの時刻に起きている	96.1	92.3	91.6
学習習慣	分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできている	83.7	83.3	80.7
	学校の授業時間以外に、普段1日当たり1時間以上、勉強をする(学習塾や家庭教師、ICTを活用して学ぶ時間も含む)	70.6	58.5	54.6
	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たり1時間以上勉強をする	65.2	50.8	48.6
	放課後や週末に、家で勉強や読書をして過ごすことが多い	63.6	50.2	49.3
教科への関心	国語の勉強は好きだ	62.0	63.0	62.0
	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	93.8	94.0	93.2
	算数・数学の勉強は好きだ	79.7	60.4	61.0
	算数・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	97.7	94.8	94.1
主体的・対話的な学び	授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた	87.4	85.4	81.9
	授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた	64.3	73.3	67.6
	授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた	81.4	84.0	79.6
	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができた	87.6	88.9	86.3
その他	自分には、よいところがあると思う	89.2	85.9	84.1
	将来の夢や目標をもっている	85.3	83.6	82.4
	人の役に立つ人間になりたいと思う	96.9	96.2	95.9
	学校に行くのは楽しいと思いますか	90.7	86.3	84.8

## 【質問紙分析】

- ・ 基本的な生活習慣を身に付けている児童が多く、保護者の協力の下、毎日規則正しく生活できている児童が多い。
- ・ 教科への関心に関しては、算数科に比べ国語科が低いことが分かった。読書に親しませること。教材を丁寧に読み取らせることなどを通して文章を読む楽しさを味わわせていく必要がある。
- ・ 授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表できる児童が県や全国より少なかった。進んで発表する環境づくりの他、資料等を活用して自分の考えを相手に伝える学習活動を取り入れ、経験を今までより多く積ませる必要がある。

全国の平均正答率と比較して大きく上回った問題○と課題のある問題●とその理由

### 【国語】

○2三イ【高山さんの文章】の下線部イを漢字を使って書き直す。

- ・ 出題の趣旨は「学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使うことができるかどうかをみる。」である。新出漢字の学習からドリルでの反復練習、最後に小テストでの評価という学習の流れができている結果であると考えられる。

○3四【原さんの読書の記録】の空欄に入る内容として適切なものを選択する。

- ・ 出題の趣旨は「日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付くことができるかどうかをみる。」である。図書館の活用や休み時間や週末における読書の奨励などにより日常的に読書に親しんだ結果であると考えられる。

●1一学校の取り組みを紹介する内容を【和田さんのメモ】にどのように整理したのかについて説明したものとして、適切なものを選択する。

- ・ 出題の趣旨は「目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすることができるかどうかをみる。」である。

●1三オンラインで交流する場面において、【和田さんのメモ】がどのように役に立ったのかを説明したものとして、適切なものを選択する。

- ・ 出題の趣旨は「目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができるかどうかをみる。」である。

上記の課題のある問題から、必要な情報を取捨選択することが難しい児童が多いことが分かった。複数の情報を整理することと、複数の情報をまとめて伝えることが苦手なことが原因であると考えられる。

### 【算数】

○5(2) 示されたデータから、1960年代のC市について、開花日が3月だった年と4月だった年がそれぞれ何回あったかを読み取り、表に入る数を書く。

- ・ 出題の趣旨は「簡単な二次元の表を読み取り、必要なデータを取り出して、落ちや重なりがないように分類整理することができるかどうかをみる」である。簡単な二次元の表を読み取ることを、算数の学習だけでなく、社会科や総合的な学習の時間

を通して教科横断的に読み取る活動に取り組んだ結果であると考えられる。

○5(3) 折れ線グラフから、開花日の月について、3月の回数と4月の回数の違いが最も大きい年代を読み取り、その年代について3月の回数と4月の回数の違いを書く。

・出題の趣旨は「折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる」である。前述の通り、データ(資料)の読み取りを数多くこなしている結果であると考えられる。また条件に当てはまる内容を記述できていることから、普段から課題に対する自分の考えを文章で表現することに取り組んでいる結果であると考えられる。

●3(3) 直径22cmのボールがぴったり入る箱の体積を求める式を書く。

・出題の趣旨は「球の直径の長さ立方体の一辺の長さの関係性を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことができるかどうかをみる」である。球の形をしたボールがぴったり入る立方体の形をした箱の1辺の長さが、ボールの直径と等しくなることを理解できない児童が多いことから具体物を用いて、視覚的に理解させる必要があると考えられる。

●5(4) 示された桜の開花予想日の求め方を基に、開花予想日を求める式を選び、開花予想日を書く。

・出題の趣旨は「示された情報を基に、表から必要な数値を読み取って式に表し、基準値を超えるかどうかを判断できるかどうかをみる」である。この問題では、表を正しく読むことと情報を立式に結びつける必要がある。日常生活に生かせる数式は積極的に活用するよう働きかける必要がある。

### 課題への取組・改善策

#### 【国語】

- ・読書活動の充実により、文章を読む力の向上を図る。
- ・コラム学習等により、文章のポイントになる部分を押さえる力の向上を図る。
- ・語彙を増やすことにより、文章を読んだり書いたりする力の向上を図る。

#### 【算数・数学】

- ・授業中に自力解決、練り上げの時間を多くとる。
- ・計算ドリルを1～3年生で2回。4～6年生で3回取り組む。
- ・算数プリントを常に用意し、いつでも取り組めるようにする。
- ・学校研究課題を算数とし、効果的な授業展開や学習内容について話し合う。

#### 【その他】

- ・深谷市授業スタンダードを参考に、教員一人一人が質の高い授業を行う。
- ・全校で学習規律を統一し、集中して授業を行うことができるようにする。
- ・学年×10+10分を家庭学習の時間とし、学習時間を確保できるようにする。